

郷土資料館 ふるさと講座・歴史系第2・3回目の様子

企画展「終戦70年～別海と戦争～」関連事業

第2回目 講座 「別海空襲について」

- と き 平成27年8月28日（金）午後7時～8時30分
- と ころ 郷土資料館
- 講 師 北海道教育大学釧路校授業開発研究室3年 山内 崇 氏
- 参 加 者 13名

第3回目 見学会「別海町に残る戦争遺跡など」

- と き 平成27年8月29日（土）午前9時30分～12時30分
- と ころ 在日米軍偵察爆撃機RB29 プロペラブレード・計根別第一飛行場跡
旧柏野尋常小学校奉安殿・旧陸軍省根室支部軍馬補充部一官舎
- 講 師 別海町郷土資料館 戸田博史・石渡一人
- 参 加 者 10名

第2回目

昭和20年（1945）7月14日、旧標津線、重太郎川鉄橋付近でアメリカ軍機によって蒸気機関車が襲撃され、機関士が殉職したというのが文書として残されています。山内氏は、この標津線における空襲の新たな知見について床丹3の川に架かる旧標津線鉄橋に銃撃の跡、当時の文書、証言等から、実際にいつ、どこで、どのように襲撃されたのかを検証しました。今回その検証の結果や今後の課題についてのお話をされました。

※内容につきましては、当日配布資料（PDF）をご覧ください。



〈参加者の感想〉

・科学的にというのが、新鮮でした。もっと証言が掘り出されるといいですね。（でも、もう70年でもね。）

・中春別での空襲は知りませんでした。何もしなければ埋もれていく歴史が沢山あると思います。町の責任としても、ここは大事なことです。しっかり残していくため、伝えていくため、個人を含め、各方面の努力が必要だと思っています。自分も努力するつもりです。

・はじめて知りました。よくわかりました。ありがとうございました。

・様々な視点から事実を煮詰めていくことで、昔の事実が明らかになっていくと、今回の講演で学び良かったと思います。アメリカの資料や日本の資料をもって関連づけていくとさらに良くなると思います。また、楽しみにしています。



- ・ 当時は人づてでの報道くらいしかなかったので、春別の件は知らなかったです。計根別飛行場の件も是非確認したいと思っています。
- ・ 戦争を科学的に検証していくというのは、あまり考えたことがなかったので、新しい視点になりました。地域住民の方や実際に目撃したことのある人の証言を生で聞ける機会というのはかなり貴重だと感じました。こういった大切な情報を伝えていくことは必要なことだと思うし、それを聞いた人が自分の立場で考えていけるような場を作っていくことが求められてくると感じました。
- ・ 空襲があったことを証拠づけるものが身近にあるのは戦争を認識する上で非常に貴重なものだと思う。一般的に機関車が狙われるとはよく言われているが、当時計根別へ機関車がどのようなものを運んでいたのかわかると、機関車が狙われる理由をもっと深く理解できる。また、空襲を受けた時、人々はどのような目的で機関車に乗っていたかが気になります。当時は機関車に乗るリスクについて知られていたか疑問である。
- ・ ありがとうございます。山内君には今後がんばって下さい。
- ・ よくまとめましたね。うれしいです。
- ・ 空襲の風景が浮かんでくるようでした。自分が暮らす場所の戦時下の様子が知ることが、戦争とは何だったのかを知ることにつながり、今のありよう、未来を考えることにつながるとあらためて思いました。ありがとうございます。

第3回目

「別海町に残る戦争遺跡など」ということで①～④を見学しました。

- ① 在日米軍偵察爆撃機 RB29 プロペラブレード (上春別) (別海町歴史文化遺産 第6号) (写真右上)
- ② 計根別第一飛行場跡-格納庫跡・掩体壕 (本別) (写真右下)
- ③ 「旧柏野尋常小学校奉安殿」 (西春別柏野) (別海町指定文化財) (写真左)
- ④ 旧陸軍省根室支部軍馬補充部-官舎など (西春別)

<参加者の感想>

- ・ 今後も継続してお願い致します。ありがとうございました。
- ・ 自分の足で歩いて、自分の目で見て広さと人々の動きとかがわかり、とても大きな基地帯であったことがわかりました。ありがとうございました。
- ・ とても勉強になりました。ありがとうございました。特に地域の歴史を知る民間の方を講師にしてもおもしろいかと。
- ・ 案内人の説明と当時の国民学校に行っていた参加者の方の体験談が良く、当時の情景が浮かぶようでした。

